

# 巻 頭 言

経営情報実務学科長 野澤 智

ここに「城西経営情報研究年報」の第3号を刊行する。本誌を創刊するにあたり、本学経営情報実務学科教員の日頃の教育および研究の成果がここに発表されることは悦びに耐えない。

平成13年4月1日に学科改組を行い、経営情報実務学科として新たなスタートを切って早くも3年間を終えようとしている。3年間、色々と試行錯誤を繰り返して来たが、その努力がなかなか成果として現れてきていないのが現状である。

さて本学では、カリキュラムの根幹に「女性学」を中心とするキャリア教育の実践に重点を置いている。そのような方針の中、今年度は現代文化学科と合同のカリキュラムとして、「キャリア発見演習Ⅰ～Ⅶ」の7講座を新たに開講した。具体的には、ホームヘルパー2級講座、ベビーシッター講座、栄養講座、美容講座、フラワーデザイン講座などである。これらは通常、専門学校やカルチャースクール等で実施されている講座であり、短大の教育課程にはそぐわないと思われる方もいらっしゃるかもしれない。学生がこれらの講座を受講することによって、それまで漠然といただいていた職業のイメージが、(ほんの少しだけではあるが)実際に体験してみることによって変わったり、考え直す機会ができると思われる。自分では簡単にできると思っていたホームヘルパーの仕事が実際に体験することによってつらかったり、あるいはもっとやりたいと思ったりする。短大に在籍しながら色々な体験をして、キャリア意識を高めていってもらいたい。そういった意味を込めてこれらの7講座を開講した。今年度は多くの学生がこの講座を受講した。特にホームヘルパー2級講座では33名が受講し、全員が2級を取得する予定である。

短大では、職業人として社会で必要とされる基本的な知識や技能の修得はもちろんのこと、自分自身の人生設計を考える場として必要な色々な機会やカリキュラムを提供することが重要であると考え。短大の存在意義と専門学校との大きな違いのひとつがそこにあると思う。

Chairman  
Satoshi Nozawa